

長年の労と功績をたたえ、栄えある受賞

平成18年3月までの15年間、体育指導委員として地域の体育振興のため活躍されてきた大鉢均さん(新旭町新庄)。2月2日に京都市で開催された近畿大会で平成18年度近畿体育指導委員協議会功労者表彰を受けられました。



近畿体育指導委員協議会功労者表彰 大鉢 均さん



平成18年度滋賀県生涯スポーツ功労者表彰 土井 秀男さん



サッカースポーツ少年団の指導者として長年にわたり地域の子どもの指導に当たられている土井秀男さん(安曇川町三尾里)。滋賀県スポーツ少年団や日本スポーツ少年団指導者協議会役員も歴任されるなど、地域スポーツの振興と青少年の健全育成に大きく貢献されていることが高く評価され、今回の受賞となりました。



平成18年度滋賀県生涯スポーツ優良団体表彰 安曇川バドミントンクラブ

安曇川バドミントンクラブは、県大会をはじめ全国大会で活躍されているとともに、地域でバドミントン大会を自主開催されるなど、地域スポーツの振興に努めてこられました。また、ボランティア活動などにも積極的に参加されるなど、長年にわたる功績が高く評価され、今回の受賞となりました。



平成18年度 沖縄県伊江村・高島市 青少年交流事業

2月9日から11日の3日間、沖縄県国頭郡伊江村のスポーツ少年団の子どもたち17人(引率4人)が、高島スポーツ少年団の子どもたちとの交流事業のため高島を訪れました。

この事業は、伊江村スポーツ少年団と高島スポーツ少年団の間で平成6年度から実施されており、夏は高島の子どもたちが伊江村を訪れてマリンスポーツとホームステイを、冬は伊江村の子どもたちが高島を訪れてウインタースポーツとホームステイを体験します。

伊江村の子どもたちは、少し緊張した面持ちで対面式に臨みましたが、その緊張も次第にほぐれ、高島の子どもたちとの半振りの再会に懐かしそうな表情を見せていました。ウインタースポーツ体験では、初めてのスキーに悪戦苦闘しながらも、高島の子どもたちと一緒に楽しんでいました。



最終日には、お世話になったホームステイ先の家族に見送られながら電車で乗り込み、高島を後にしました。(高島支所地域振興課)



障がいのある子どもたちの未来のために 青少年育成指導者研修会

障がいのある子どもをどう理解し関わっていくかは、現代社会の大きな課題です。子どもと接する大人たちがその認識を深めるため、2月4日(日)安曇川公民館で研修会を行いました。講師の滋賀大学の白石恵理子教授は、「子どもを正しく理解するのは、子どもを深く信頼するため」「子どもの人格と向き合い、障がいを見るのではなくその子の発達をとらえることが大切」と講演されました。子育てには親だけでなく助け

合えるたくさんの方の応援が必要。特に軽度発達障がいの子には、周りの温かで共感的な理解が何より大切です。そのように周りの大人も成長しなければなりません。障がいのある子が大切にされる社会は、すべての子が大切にされる社会でもあります。(青少年室)



ALIT(外国語指導助手)との交流会を開催しました

高島地域国際親善協会と新旭町国際交流協会の会員とその関係者約50人が2月18日(日)に、高島市内の学校に勤務するALIT(外国語指導助手)の皆さんと、身近な国際交流を楽しみました。まずは自己紹介からスタート。ALITの皆さんの流ちょうな日本語にビックリ。このあと、新旭町の老人クラブの方から「薔草履つくり」を教えてもらい悪戦苦闘の結果、少々形にゆがみはありましたが見事に完成させ



ることができました。最後にみんなで「ぜんざい」をいただくなど、日本古来の文化体験を通して楽しいひとときを過ごしました。(高島支所地域振興課)



人権という視点から考えてみよう

青柳小学校4年生では、人権という視点から友達との関わりについて考え、そして、みんなで「人権標語」を考えました。考えた標語は、教室や廊下に掲示し、全校に広めています。皆さんも、子どもたちの標語から、人権について考えてみませんか。

- ・いじめたら 自分はよくても 友がきずつく
- ・やくそくを やぶるとなくす 友達を
- ・ごめんない 一番勇気のいる 言葉
- ・友達をいじめたら 君の友達 悲しむよ
- ・いじめたら 自分の友達 へっていい
- ・いじめている 相手の気持ち 考えよう
- ・いじめていると 友達なくすよ
- ・いじめられている人の 心を 考えよう
- ・一対多 ひきょうだよ やめようよ

- (渡 和真)
- (高岡 美南)
- (谷 健太郎)
- (池田 景裕)
- (伊東 泰聖)
- (前田 智絵)
- (奥谷みなみ)
- (辻澤 樹良)
- (安原 涼太)

- ・いじめること ぜったいやめよう みんな仲よく
- ・相手の気持ちを考えよう。あなた、私のその一言
- ・友達の その一言で 仲直り
- ・いじめられてる人は 勇気を持って だれかに話そう
- ・「やめようよ」その一言が いじめをとめる
- ・いじめをやる人は みな ひきょう者
- ・いじめてる 君の心 だいなした
- ・いじめられ 自分もやったら 自分も悪い
- ・いじめている 最後は自分に かえってくる
- ・いじめられている だまさないで 注意だよ
- ・一対二 それでやるのは ひきょうだよ
- ・いじめるな 君の心も きずがつく
- ・遊ぶ時 仲間はずれは やめようよ
- ・いじめたら 君の心が 泣いている
- ・一人対多い人数は いじめだよ
- ・やめようよ 今やってることは いじめだよ
- ・大勢で 一人の人を いじめるな

- (伊東さほら)
- (荻野 海里)
- (中西 文音)
- (淵田 詩織)
- (山原 典果)
- (八田 晃憲)
- (郡 沙也加)
- (小島 勇氣)
- (梅村 里穂)
- (岡田 咲希)
- (木原 佳祐)
- (山本 直人)
- (高橋 一生)
- (柴田 博之)
- (松田友香里)
- (川崎 瑞記)
- (小島 彬)